

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野 I	日常生活援助 技術論演習Ⅲ	1	30	1年次	6月	田中紀代美
<b>授業概要</b> 清潔・衣生活援助の基礎知識として、皮膚・粘膜の構造と機能、入浴・部分浴を中心とした清潔援助の効果と呼吸・循環器など全身への影響を学び、その人の病態に即した援助方法を選択するときの留意点について理解したうえで、具体的な実施方法について学習する。						
<b>到達目標</b> 1.人間にとっての皮膚粘膜の機能を理解し、清潔のアセスメントが理解できる。 2.清潔の意義とその援助の目的を理解できる。 3.清潔援助の意義と援助の方法を理解し技術の習得ができる。 4.衣生活の意義を理解し、寝衣交換の技術が習得できる。						
<b>使用教材</b> テキスト： ① 系統看護学講座 専門 I 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③，2018，第 17 版：医学書院 ② 看護がみえる① 基礎看護技術，2018：メディックメディア 参考文献等： ① 新体系看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ，2014，第 2 版，メヂカルフレンド社 ② 川島みどり監修 基礎看護技術ガイド，2015，第 1 版，照林社						
<b>評価</b> 技術試験（全身清拭・洗髪）、筆記試験						
<b>授業計画</b>						
時間・回数	授業内容					方法
2 時間・1 回	1.対象にとっての清潔の意義 1)人間の基本的欲求としての清潔 2)清潔に対する考え方 3)多種多様な習慣・生活パターン 2.身体を清潔に保つことの意義 1)生理的側面（皮膚粘膜の機能、新陳代謝、全身的効果） 2)精神的側面 3)社会的側面 3.対象に応じた清潔援助方法 1)清潔援助の観察の視点 2)清潔の必要性、清潔行動を阻害する因子 3)身体における温熱作用の影響 4)健康障害と清潔、清潔援助における看護師の役割 5)清潔援助の種類と効果及び留意点					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開港時期	担当講師
専門分野	日常生活援助 技術論演習Ⅲ	1	30	1年次	6月	田中紀代美
時間・回数	授業内容					方法
19時間・10回	4.清潔援助の実際 1)入浴・シャワー浴 2)全身清拭 3)洗髪 4)手浴 5)足浴 6)陰部洗浄 7)整容（洗面、眼・耳・鼻の清潔、爪切り、髭剃り） 8)口腔ケア <b>【実技：全身清拭、洗髪、手浴、足浴、陰部洗浄、口腔ケア】</b>					講義 実技
6時間・3回	5.病床での衣生活の援助に必要な基礎知識 1)衣服を用いることの意義 2)熱産生と熱放散 3)被服気候 4)衣生活に関するニーズのアセスメント 6.病床での衣生活の援助の実際 1)病衣の選び方 2)病衣・寝衣の交換 <b>【実技：病衣、寝衣の交換】</b>					講義 実技
1時間・1回	技術試験 1（全身清拭）					
1時間・1回	技術試験 2（洗髪）					
1時間・1回	終講試験					
<b>備考</b> ○陰部洗浄は便器挿入についての復習を行い、演習に臨む。 ○技術が習得できるように各自で事後練習を行う。						